



2026年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社立花エレクトック
代 表 者 名 代表取締役社長 布山尚伸
(コード番号 8159 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取締役執行役員 管理部門担当 松浦良典
電 話 (06) 6539-2718

新中長期経営計画「G I C 3 0」策定のお知らせ

当社は、新中長期経営計画（2027年3月期から5ヵ年）を策定いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

記

1. 新中長期経営計画の位置づけ

当社は創業100周年を迎えた2022年3月期に策定した5ヵ年の前中長期経営計画「NEW C.C. J2200」におきまして、「200年企業になるための基盤づくり」を推進してまいりました。

計画内で掲げました業績数値「連結売上高2,200億円、連結営業利益70億円」を期間内で達成し、今後はグローバル企業として更なる進化を遂げるべく、次なる成長に向けた新たな中長期経営計画を策定し、実行に移してまいります。

2. 新中長期経営計画の概要

I. 計画名称：G I C 3 0

		(ジー・アイ・シー・サーティー)	
G : G lobal	I : I nnovation	C : C ompany	30 : 2030 年度に売上高 3,000 億円を目指す！
		グローバルに 変革に挑み 組織体制を強化して	

II. 計画期間：5ヵ年（2027年3月期～2031年3月期）

詳細につきましては、添付資料をご確認ください。

以 上



中長期経営計画 GIC30

株式会社立花エレテック
2026年5月

01 前中長期経営計画「NEW C.C.J2200」の振り返り

02 中長期経営計画「GIC30」

- ✓ スローガンと目指す方向性
- ✓ 定量目標
- ✓ 外部環境、当社の課題と対応
- ✓ 5つの事業戦略と6つの経営戦略
- ✓ サステナビリティ経営の推進

01 NEW C.C.J2200の振り返り

(計画期間：2021年4月～2026年3月)

NEW C.C.J2200 の総括

◎ 中期経営計画 目標値 (2026年3月期)

🕒 実績

2,200 億円

売上高

2,275 億円

70 億円
(3.2%)

営業利益
(営業利益率)

75 億円
(3.3%)

セグメント別 & その他指標

FAシステム事業

1,140 億円 → 1,098 億円

半導体デバイス

780 億円 → 891 億円

施設事業

210 億円 → 217 億円

MS事業

70 億円 → 67 億円

海外事業

300 MUSD

→

298 MUSD

※各事業の内数

420 億円 1 \$ 140円

460 億円 1 \$ 156.56円

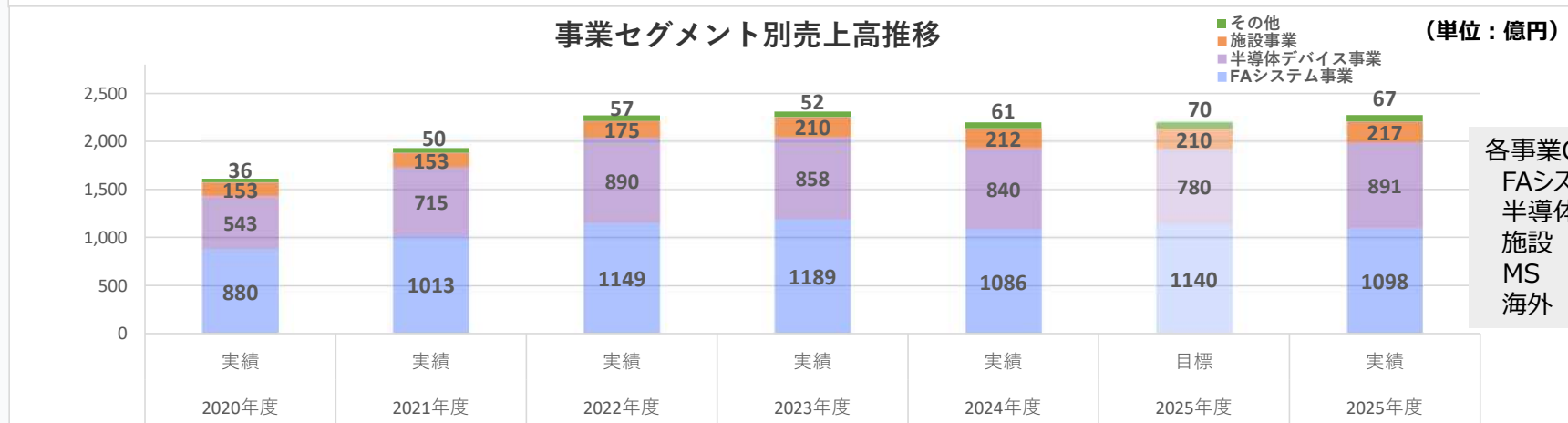
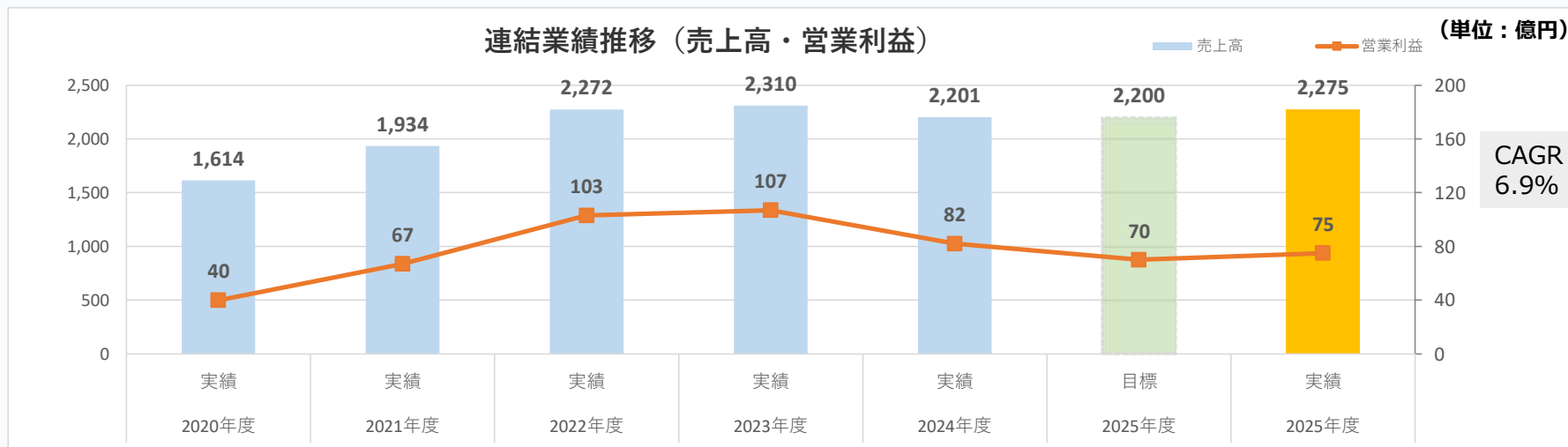
 環境配慮型製品

500 億円

→

1,045 億円

NEW C.C.J2200 の総括



NEW C.C.J2200 の総括

当初目標

① 実務のIT化 (=データコネクト)

- ・取引先とのデータ授受のオンライン化
- ・業務プロセスの見直し
- ・社内データ基盤の整備
- ・営業活動のDX化

② 新しい時代を見据えた人事制度改革

- ・業務の難易度に応じた資格制度 (JOB型人事制度) の創設
- ・業務のプロを目指す人事体系
- ・将来の労働環境変化に適応した人事制度

成果

① 実務のIT化 (=データコネクト)

- ・ EDI及びAI-OCR+RPAによる受注登録自動化
- ・ DX推進の投資を決定、2025年10月よりSFAの試使用開始
- ・ 経営情報基盤としてDWH導入


② 新しい時代を見据えた人事制度改革

- ・ 新人事制度の方針(立花版JOB型)、
方向性(年功序列廃止・能力実力主義)を決定
- ・ 2026年4月に第1フェーズスタート、
2026年より3年計画で段階的に移行

02 中長期経営計画 GIC30

- ✓ スローガン、目指す方向性
- ✓ 定量目標
- ✓ 外部環境、当社の課題と対応
- ✓ 5つの事業戦略と6つの経営戦略
- ✓ サステナビリティ経営の推進

スローガンと目指す方向性

 (ジー・アイ・シー・サーティー)

G : **G**lobal グローバルに
I : **I**nnovation 変革に挑み
C : **C**ompany 組織体制を強化して
30 : 20**30**年度に売上高 **3,000**億円を目指す！

- ✓ グローバルに変革を進め、DXの活用をもって商社版生産性を高めて、業績の拡大をはかる。
- ✓ 戦略テーマ単位で投資判断を見定め、規律ある投資を実行する。
- ✓ 得られた成果を成長への再投資、人財投資、株主還元へと循環を続ける Global Innovation Companyへと進化する。

定量目標

指標	2025年度実績
売上高	2,275億円
営業利益	75億円
営業利益率	3.3%
海外関連 売上高比率	19.2%

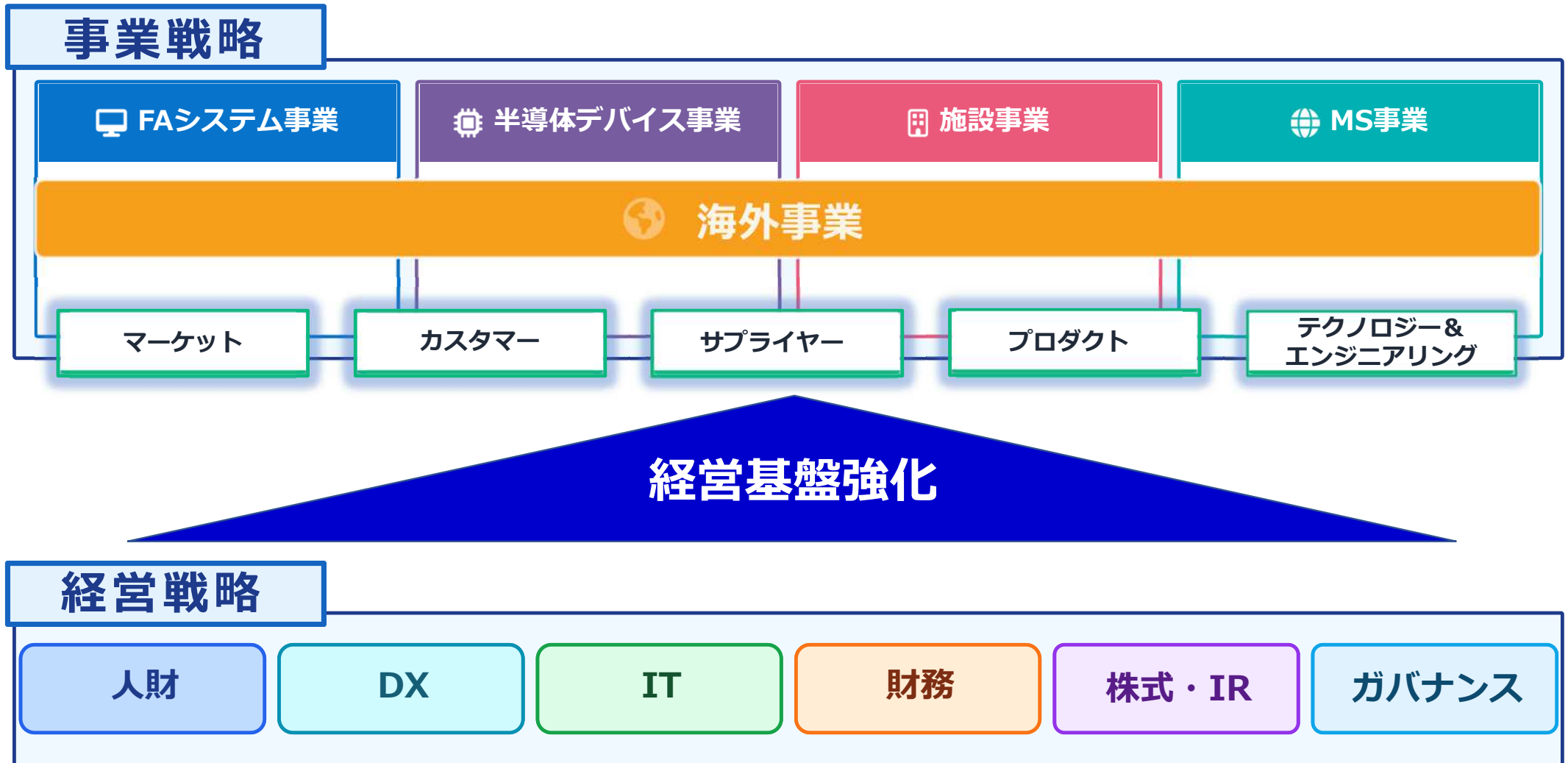


2030年度 (GIC30最終年度)
3,000億円
120億円
4.0%
30%

外部環境、当社の課題と対応

Global グローバル	Innovation 変革	Company 組織
外部環境		
<ul style="list-style-type: none"> 国内市場の縮小、生産拠点の多極化 地政学リスク増大、自国優先主義 為替変動、資源高、貿易規制 	<ul style="list-style-type: none"> 海外、国内メーカーの台頭によるコンポーネントビジネスの競争激化 少子高齢化による人手不足、人件費の上昇 AI発展によるデジタル格差 	<ul style="list-style-type: none"> 団塊世代の退職 サステナビリティ経営志向の強まり 資本コストを意識した経営の要求 業界再編の波
当社の課題		
<ul style="list-style-type: none"> 顧客の海外進出に対応する営業・技術サポート体制 ガバナンス・コンプライアンス管理 多拠点・多通貨の資金管理 	<ul style="list-style-type: none"> 単品販売からの脱却 既存の業務プロセス、事業運営からの脱却 デジタル化・DXによる業務の効率化と質の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 団塊世代のノウハウ継承 サステナビリティ経営への対応 PBR1倍対応、資本コストの高止まり 事業規模の拡大
当社の対応		
<ul style="list-style-type: none"> 海外の需要地域への出店 グローバル顧客に対応する体制構築 サプライチェーンの可視化・最適化 経営管理情報の集約による可視化・活用 	<ul style="list-style-type: none"> ソリューション、自動化技術、アセンブリ、工事請負に対応できる体制整備 業務プロセス見直し、営業体制の再構築 情報基盤の構築（DWH・グローバル連携） DX加速による業務生産性向上 	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮型製品の拡販、Scopeの開示 時価総額の向上 M&A、業務提携によるパートナーシップ強化 非事業資産の縮小、資金の効率運用

5つの事業戦略と6つの経営戦略



事業戦略

	目指す姿	重点施策
FAシステム事業	“Just Fit”な解決策で顧客満足を追求し、現場から世界へと挑戦領域を広げ、FA業界のトップリーダーを目指す	<ul style="list-style-type: none"> ✓ FA技術商社としての確固たる地位の確立 ✓ OT(オペレーション・テクノロジー)/IT領域の一貫したソリューション提供 ✓ 成長する業界への戦略商材の拡販
半導体デバイス事業	革新を続ける技術力をグローバルに展開し、独自性のある技術商社として確固たる地位を築く	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 既存顧客での商談深掘りと新規顧客拡大の推進によるコア事業規模の拡大 ✓ 新規要素技術の拡充による技術の深化 ✓ 注力分野の開拓、新規商材の拡充
施設事業	再エネ・設備・ソリューションを融合し、成長市場を攻め、更なる事業進化を実現する	<ul style="list-style-type: none"> ✓ データセンター・物流・都市再開発分野を重点攻略 ✓ 空調・電源・照明・再エネを融合した高付加価値事業へ進化 ✓ 設計・販売・施工・保守を一体化した総合エンジニアリング体制を強化
MS事業	信頼される「ものづくり商社」としての認知を確立する	<ul style="list-style-type: none"> ✓ グローバル展開を加速 ✓ 製造受託の範囲を拡大 ✓ QC管理と予防処置の強化
海外事業	国内基幹事業と一体となり顧客から信頼されるグローバル拠点を擁して高い成長を遂げる	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 顧客需要のある地域への拠点展開し、グローバル顧客を一貫サポート ✓ 海外技術センターの拡充 ✓ 市場優位性のあるLocal Supplierの発掘

◆ 業容拡大のための人財・技術・商圏の確保に向け、アライアンス・M&Aを積極的に活用する

	GIC30の目標	重点施策
人財戦略	社員のやりがい・モチベーションの向上に資する人事制度改革により、人基軸経営を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ✓ "立花版ジョブ型人事制度"の完成 ✓ GIC30達成に向けたスキルの定義と人財の育成 ✓ 長期的な人員計画に基づく人財の獲得
DX戦略	AI・RPAの活用を促進して業務の変革を行い、生産性を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 日常業務のAI/RPA利用を標準化 ✓ 業務・人のノウハウをAIに載せ、各種判断をサポート ✓ デジタルツール活用スキルの向上と風土醸成
IT戦略	グループ全体の効率を向上させるITプラットフォームに刷新する	<ul style="list-style-type: none"> ✓ グループ全体の情報基盤の確立 ✓ 基幹システムの刷新
財務戦略	堅実な財務基盤を維持しつつ、成長投資と株主還元の好循環をはかる	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 非事業資産の圧縮 ✓ 規律ある事業成長投資の実行 ✓ 累進配当方針に基づく株主還元
株式・IR戦略	株式・IR政策を通してPBR 1倍以上を実現する	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 株主還元の強化・安定化 ✓ IR・SRの強化 ✓ 株主・投資家との対話の強化
ガバナンス戦略	グローバル経営管理、コンプライアンスを強化し、健全なガバナンス体制を構築する	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 情報基盤をベースとしたリスク情報の可視化 ✓ データに基づく迅速な意思決定環境の実現 ✓ コンプライアンス教育の徹底継続

サステナビリティ経営の推進

～事業活動を通じて社会課題を解決し、持続可能な環境・社会の実現に貢献～

目指す姿

重点施策

E：環境

環境配慮型製品・ソリューションの拡販を通じ、顧客・社会全体のカーボンニュートラル実現に貢献する技術商社を目指す

- ✓ 環境配慮型製品の普及促進
- ✓ 顧客・取引先への環境ソリューションの提案
- ✓ グループ全体のオペレーション領域のGHG低減
- ✓ Scope1、2の連結開示、Scope3開示への対応

S：社会

「人基軸経営」を深化させ、多様な人財が生き生きと働き成長を実感できる組織を目指すとともに、地域社会との共生を実現する

- ✓ "立花版ジョブ型人事制度"への段階的移行
- ✓ 社員の能力開発を促進する研修の実行
- ✓ 健康経営の推進
- ✓ 女性活躍推進の取り組み強化
- ✓ 「なごみの里」里山保全活動の継続、地域社会との連携

G：ガバナンス

経営の健全性・透明性を追求し、制度整備に留まらず社員の倫理観を育む実効的ガバナンスを確立する

- ✓ コーポレート・ガバナンス体制の継続的な強化
- ✓ 情報基盤確立によるリスクの可視化とグローバル経営管理の強化
- ✓ コンプライアンス教育の継続実施